

企画展

令和7年(2025) 4.25 金 - 6.15 日

松江の名工・小林如泥
—その技、神の如し—

小林如泥（1753-1813）は、松江藩松平家7代藩主松平治郷（不昧）に仕えた指物師（木工細工の職人）で、透かし彫りや厚材の扱いに優れ、煙草盆や茶箱、建造物の装飾なども手がけました。「その技、神の如し」とたえられた技は後世の作り手に影響を与えました。本展では、小林如泥の作品と如泥に影響を受けた人々の作品を紹介し、松江が誇る木工文化の素晴らしさを改めて紹介します。



「櫻桑富士西行図透刀掛」
小林如泥作（当館蔵）

館蔵品展

令和7年(2025) 7.18 金 - 9.15 月・祝

長崎家の籐細工
—松江でつづく丁寧な仕事—

松江藩の籐細工は江戸時代後期の文政年間頃には作られ始めていたといい、下級武士が内職として煙管入を製作していたと伝えられています。この江戸時代の技法を現代に伝えるのが長崎家の籐細工です。江戸時代末期、松江藩の料理方であった長崎家初代仲蔵が、松江藩下屋敷で籐細工を作ったのが始まりとされています。本展では、初代仲蔵から現在活躍中の6代長崎誠氏と、その技術を受け継ぐ方々の作品を紹介します。



「極細一楽編煙管入」
長崎仲蔵作（当館蔵）

特別展

令和7年(2025) 10.10 金 - 12.7 日

慶長の城
—松江城築城とその時代—

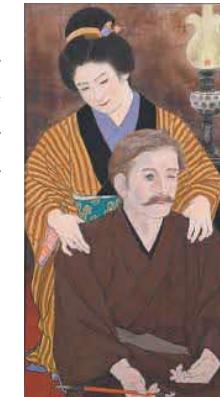
関ヶ原合戦の後、戦争の火種が残る慶長期は、城郭の改修と新築が一気に進んだ時代でした。松江城も、築城ラッシュの最中、慶長16年（1611）に建ちました。戦功により出雲・隱岐両国を与えられた堀尾氏が、新たな支配の拠点として松江を選び、城と城下町を造り上げたのです。松江城天守の国宝指定10周年を記念して開催する本展では、松江城研究の成果にもとづき、周辺地域の城と比較しながら、「慶長の城」松江城の姿をあらわします。



令和7年(2025) 12.26 金 - 令和8年(2026) 3.29 日

連続テレビ小説「ばけばけ」の世界と
小泉八雲とセツの時代（仮）

NHKの連続テレビ小説「ばけばけ」が2025年10月から放送されることにあわせて、ドラマの主人公のモデルとなった松江藩家臣の小泉家次女・小泉セツと、その夫でギリシャ生まれのアイルランド人作家・小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）の二人が生きた明治時代中期の松江の様相を、歴史資料やゆかりの品々で振り返ります。



「小泉八雲夫妻」
和田悠成作（当館蔵）

スポット展示

基本展示室・最終コーナー
要基本展示観覧券豊穣の湖
—宍道湖の漁撈用具—

4月1日(火)～5月25日(日)



宍道湖の四ツ手網漁

松江藩の御用窯・布志名焼
永原窯

5月27日(火)～7月27日(日)



「布志名焼 草唐文杯洗」
永原初代雲與作（当館蔵）

終戦80年記念
—出征する若者へ—

7月29日(火)～9月28日(日)



千人針で作った日の丸と鉄兜下に付ける頭巾
(いずれも当館蔵)

昭和時代の八雲塗
—華やかな装飾—

9月30日(火)～11月30日(日)

若槻禮次郎のサインと印章

12月2日(火)～2月1日(日)

松江藩家老・乙部家の所蔵品

2月3日(火)～3月29日(日)

ミニ展示

展示ホール・展示室前
観覧料無料不昧の美意識を伝える
名工たち

4月1日(火)～5月25日(日)



「樂山焼 蕎麦写茶碗」長岡住右衛門作
(当館蔵)

松江城天守保存のあゆみ
—調査して磨く—

5月27日(火)～7月27日(日)



「布志名焼 草唐文杯洗」
永原初代雲與作（当館蔵）

松江城天守保存のあゆみ
—修理して伝える—

7月29日(火)～9月28日(日)



「北海道風景」
草光信成作
(当館蔵)

小泉セツの面影(仮)

12月2日(火)～2月1日(日)

桃の節句のお人形
—お雛様と天神様—

2月3日(火)～3月29日(日)



「横浜天神」
(当館蔵)

基本展示室も展示替えしています

松江藩の歴史や文化を紹介する基本展示室（常設展示室）では、3か月に一度、大名列図や町絵図、刀剣などを展示替えています。展示替えのスケジュールや内容は随時ホームページでご案内します。

松江おもしろ談義

—歴史をたずねる・美術にしたしむ—

学芸員による松江の歴史と
美術に関する講座です。

※詳細は随時ホームページ等で
ご案内します。

場所 館内 歴史の指南所



とき 偶数月に開催、日曜日 14:00~15:00
4/20、6/15、8/17、10/5、12/21、2/15

国宝附「松江城天守祈祷札」 特別公開

要基本展示観覧券



国宝「松江城天守」の築造年を裏付ける
祈祷札の実物を期間限定で展示します。
天守地階の柱に打ち付けられていたことを
示す小さな釘穴にもご注目ください。

場所 基本展示室

とき 6/24(火)~29(日)

※特別展「慶長の城」でも10/10(金)~12/7(日)
に企画展示室で公開します。

松江城天守VRで登閣体験

とき 毎週日曜日

松江歴史館にいながら国宝松江
城天守を訪れることができる
VRコーナー。祈祷札を間近で
見たり、梁の高さから柱を観察
したり、VRならではの目線で
松江城天守を楽しむことができます。



松江歴史館では、企画展等に関連した講演会や季節に応じた
イベントも開催しています。

各種イベントにつきましては、ホームページ、Facebook、X、
Instagramで随時ご案内します。

<https://matsu-reki.jp/>

松江歴史館



で最新情報を配信中！

※予定はやむを得ず変更となる場合があります。

※各種イベントのお申込みはお電話にて承ります。

TEL : 0852-32-1607、休館日除く9:00~17:00受付。

参加
無料

■ 開館時間

9:00~17:00 (観覧受付は16:30まで)

■ 休館日

毎週月曜日 (祝日の場合は翌平日)、年末年始 (12月29日~1月1日)

※ただし令和7年4月28日(月)、8月12日(火)、9月22日(月)は開館

■ 展示室観覧料 (展示室以外は入館無料) ※令和7年4月1日改定料金

基本展示/大人700円 (団体560円、松江市民350円)

小・中学生350円 (団体280円、松江市民180円)

企画展示/展示ごとに料金が異なります。

※団体料金は20名以上。

※市民料金の適用を受けるには、運転免許証・マイナンバーカードなど、現住所が確認できるものを受付で提示してください。

※有料展示観覧の方は、当日のみ松江ホーランエンヤ伝承館を無料で観覧できます。

■ 年間パスポート ※令和7年4月1日改定料金

大人2,100円(松江市民1,050円) 小・中学生1,050円(松江市民540円)

※購入日から1年間、松江歴史館の基本展示と企画展示および松江ホーランエンヤ伝承館が何度でも観覧できる他、特典があります。

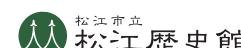
■ アクセス



展示・催し物のご案内



SCHEDULE
2025.4-2026.3



■お問い合わせ先
〒690-0887 島根県松江市殿町279番地
TEL : 0852-32-1607 FAX : 0852-32-1611
<https://matsu-reki.jp/>



松江城天守祈祷札
(当館蔵、国宝附)